

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果概要と 西有馬小学校における今後の取組について

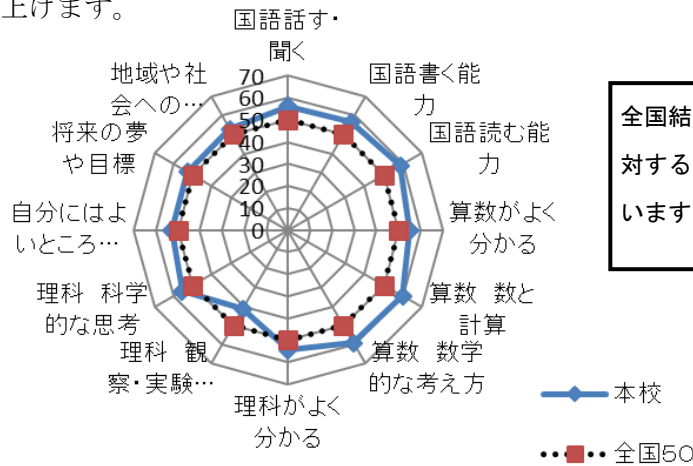
日頃より本校の教育活動にご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。
さて、本校では学校教育目標を実現するために、学校経営方針として

- ① 自主的、創造的に考える子どもの育成
- ② 命を大切に、社会性のある心豊かな子どもの育成
- ③ 健やかでじょうぶな子どもの育成

をめざして日々の教育活動に取り組んでおります。この度、本年4月17日（火）に6年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の各学校の調査結果から見えてくる本校のめざす教育活動の成果と課題の一部をお知らせし、今後も保護者・地域の方々と共に本校の教育活動をより進めていくことができればと考え、この報告書を作成しました。

なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部であり、学校の教育活動の一側面であることが調査の実施要項に示されております。本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただきたいと存じます。今後も児童一人ひとりに寄り添った教育活動の推進に努めてまいりたいと考えております。地域・保護者の皆様には、本調査の趣旨をご理解いただき、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1 調査結果概要



全国結果を50とし、それに対する本校の結果を表しています。

- 成果
- 分析
- 課題
- 今後の取組み

○は概ね満足できる状況と考えられる内容 ●は改善を必要とする状況と考えられる内容

※で示している数値は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値 ()は全国の数値

<自主的、創造的に考える子どもの育成>

(1) 国語の調査結果

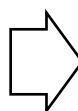
- 話す・聞くの平均正答率
70.8% (64.6%)
- 書く能力の平均正答率
52.3% (42.6%)
- 読む能力の平均正答率
59.6% (50.8%)



- 国語の領域すべての平均正答率が全国平均を上回っており、目標は達成されました。良い状況と考えています。
- 校内研究やユニバーサルデザイン（児童に寄り添った学習環境づくり）を意識した取り組みにより、「書く能力」「読む能力」は、全国平均より約10ポイント高く、授業実践の成果が出ています。
- 図書館利用指導、自分のお薦めの本の紹介活動等により、本の貸出数が増えていることも、読む能力の向上の要因と考えられます。

(2) 算数の調査結果

- 算数の授業の内容がよく分かる
※88.5% (83.4%)
- 数と計算の平均正答率
68.2% (58.4%)
- 数学的な考え方の平均正答率
58.3% (49.2%)



- 算数の領域すべての平均正答率が全国平均を上回っており、良い状況と考えています。
- 問題を解くときに様々な考え方にふれる場面やよりよい方法を話し合う場面を授業の中に積極的に取り入れることで、児童が意欲的に学習に取り組む姿が見られました。数学的な考え方の本校の平均正答率は、全国平均より9ポイント高くなっています。今年度も引き続き充実を図っていきます。

(3) 理科の調査結果

- 理科の授業の内容がよく分かる
※93.9% (89.4%)
- 科学的な思考・表現の平均正答率
59.7% (54.1%)

○観察実験の技能の平均正答率
62.3% (71.1%)

- エネルギー、生命、地球の領域の分野で平均正答率が全国平均を上回っており、おおむね良い状況と考えています。
- 観察実験の技能の平均正答率が全国平均より9ポイント下回りました。観察実験の技能については、ろ過の適切な操作方法が十分に理解できていなかったことがわかりました。理科の実験の仕方を十分に身につけられるように授業の構成を工夫していきます。

<命を大切にし、社会性のある心豊かな子どもの育成> <健やかでじょうぶな子どもの育成>

(4) 質問紙調査

- 自分にはよいところがある
※87% (84%)
- 将来の夢や目標をもっている
※87.8% (85.1%)
- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
※68.7% (63.8%)

○いじめはどんな理由があってもいけない
※96.9% (96.8%)

- 「自分によいところがある」については、肯定的に回答した児童が多く、良い状況です。今後も学校行事において児童の主体的な活動を取り入れることや、かわさき共生*共育プログラムの実施により、自己肯定感のさらなる向上をめざします。
- 「将来の夢や目標をもっている」の回答率も高く、学校生活でも目標に向かって前向きに取り組もうとしている児童が多く、良い状況と言えます。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけない」については、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の回答率は、やや全国平均を超えていますが「当てはまる」だけを見ると下回っています。いじめは、絶対にいけないことであるという心情を育てるとともに、「当てはまる」が全国平均を上回ることをめざします。

2 今後の取り組み

自主的、創造的に考える子どもの育成

引き続き、校内研究やユニバーサルデザインを意識した取組により、授業の充実を図っていくとともに、様々な考え方にふれる場面やよりよい方法を話し合う場面に授業の中に積極的に取り入れ、主体的で対話的な深い学びを意識した授業づくりをめざします。特に理科に関しては、観察実験の仕方、器具の使い方、記録の仕方等の指導に力を入れ、何を確かめる実験なのか学習課題を明確にし、わかりやすい授業を進めていきます。事実だけではなく、結果の違いや結果から推測することを丁寧に行っていきます。

命を大切にし、社会性のある心豊かな子どもの育成 健やかでじょうぶな子どもの育成

今後も学校行事や様々な教育活動において児童の主体的な活動を取り入れることや、かわさき共生*共育プログラムの実施により、自己肯定感のさらなる向上をめざします。また、命の授業や学年たてわり活動の充実により、人との関わり方についてスキルを学ぶとともに、自分の周りの人を大切にする気持ちを育てていきたいと考えています。道徳教育は、校内研究においても推進しており、よりいっそう豊かな心と実践的な態度の育成に努力していきます。

教育委員会から

西有馬小学校では、全員が「わかる・できる」授業をめざし、個に応じた支援や指導方法の研究に加え、対話的な学習などの授業改善に努めています。そうした取組が、意欲的に学ぶ子どもの姿につながっていると考えております。また、かわさき共生*共育プログラムや自主的活動の充実により、子どもたちは人と関わる力を育み、自尊感情を高めていることが、調査結果からもうかがえます。

宮前区・教育担当